

# やまがた しあわせウッド賞 顕彰施設

平成30年度から令和2年度にかけて、民間施設における木造化の取組みを進めるために、県産木材を有効に活用したモデル的な事例について顕彰を行ってきました。

伝統的な造りから、現代的なデザインまで、地域の木材をふんだんに使った木のぬくもりあふれる14施設を紹介します。

## やまがたしあわせウッド賞 顕彰基準

- ・ 募集年度の直近1年間に建設された施設
- ・ 施設の木工事費が全体工事費のおおむね10%以上
- ・ 使用された木材のうち、県産木材をおおむね50%以上使用

## 平成30年度

### つぐみ・ドゥ・ほいくえん 天童市



木材使用量 71.9 m<sup>3</sup> (36.7 m<sup>3</sup>)

- ▷ 木材をふんだんに使用した認可保育所。
- ▷ 地元産の木に囲まれた自然の心地よさとともに保育することをコンセプトとしている。

### レストラン イーストゲート サガエ 寒河江市



木材使用量 42.2 m<sup>3</sup> (23.0 m<sup>3</sup>)

- ▷ 白を基調として現しの柱をアクセントにしたおしゃれなデザインのレストラン。
- ▷ 大スパンのスペースを確保するため、県産木材を使用した構造梁を使用。

### 焼肉名匠 山牛 山形店 山形市



木材使用量 54.8 m<sup>3</sup> (33.9 m<sup>3</sup>)

- ▷ 落ち着いた和の雰囲気の焼肉店。
- ▷ 現しの梁や柱などの木材を活かし、黒と白を基調とした高級感のあるデザイン。

### 英照院 新庄市



木材使用量 229.3 m<sup>3</sup> (118.6 m<sup>3</sup>)

- ▷ 建物本来の美しさと快適性・耐久性を高めた後世に残る新たな伝統を創造する近代寺院。
- ▷ 外壁には全てスギの無垢材を使用。
- ▷ 地域のコミュニケーションの場としても活用されている。

### マルカ林業株式会社 新庄市



木材使用量 47.6 m<sup>3</sup> (35.9 m<sup>3</sup>)

- ▷ 木質チップを供給する事業者事務所。
- ▷ スギ板の斜め貼りと縦貼りがアクセントの応接室。
- ▷ 腰壁には金山杉を使用している。

### 愛真こども園 白鷹町



木材使用量 152.4 m<sup>3</sup> (137.5 m<sup>3</sup>)

- ▷ 白鷹町産の無垢材を可能な限り使用した認定こども園。
- ▷ 白鷹町産のスギをふんだんに使用することで木の温かみや香りが実感できる施設。

木材使用量の ( ) 内は県産木材の使用量

## 令和元年度

### 東北公益文科大学運動部寮 酒田市



木材使用量 203.7 m<sup>3</sup> (186.4 m<sup>3</sup>)

- ▷ 木造軸組工法の2階建てで、構造材や内装材には酒田市産材をふんだんに使用。
- ▷ スギ集成材の柱と化粧壁により木の素地が見える温かみのある吹き抜け空間が特徴。

### 新庄商工会議所会館 新庄市



木材使用量 113.5 m<sup>3</sup> (95.8 m<sup>3</sup>)

- ▷ 地域商工業のシンボルとなる、木のぬくもりあふれる建物がコンセプト。
- ▷ 構造材、造作材ともに地元の金山杉を使用し、木の優しさや温かみの感じられる仕上がりとなっている。

### 聞徳寺 河北町



木材使用量 73.4 m<sup>3</sup> (49.0 m<sup>3</sup>)

- ▷ 構造材、造作材の一部には、樹齢100年以上の西山杉を使用。
- ▷ 和室の内装材の柵目や色合いにこだわり、製材した中から特に品質の良い材料を厳選して使用。

## 令和2年度

### 山形寿地所株式会社 山形市



木材使用量 11.1 m<sup>3</sup> (5.7 m<sup>3</sup>)

- ▷ 勾配天井を活かした大空間が特徴の事務所。
- ▷ 梁の一部や内装(壁・床・天井)に県産木材を使用し、張りあがった板にムラができないよう1枚ずつ選別しながら施工している。

### 幼保連携型認定こども園 ちとせはぐくみ園 鶴岡市



木材使用量 153.9 m<sup>3</sup> (102.7 m<sup>3</sup>)

- ▷ こども達の安全面と働く先生の利便性を考慮し設計された幼保連携型の認定こども園。
- ▷ 梁や桁、柱などの構造材に県産木材をふんだんに使用。

### 羽陽学園短期大学附属幼保連携型認定こども園 大宝幼稚園 鶴岡市



木材使用量 265.4 m<sup>3</sup> (142.5 m<sup>3</sup>)

- ▷ 木のやさらかさや温かさが感じられる認定こども園。
- ▷ 準耐火建築物となっており、燃えしろ分を加味した太い木材を使用することで、一部の構造材を現しにしている。

### ちわら菜の花こども園 鶴岡市



木材使用量 312.8 m<sup>3</sup> (208.3 m<sup>3</sup>)

- ▷ 街の中の「森」を意識した木造の幼保連携型認定こども園。
- ▷ 梁や桁、柱などの構造材のほか、内装(腰壁・建具)に県産木材を使用。

### 特別養護老人ホーム 白光園 白鷹町



木材使用量 2195.5 m<sup>3</sup> (1548.4 m<sup>3</sup>)

- ▷ 木のぬくもりあふれるユニット型特別養護老人ホーム。
- ▷ 白鷹町産の入手のしやすい断面・長さ・強度の材を用いて一般的な軸組み工法とすることで、地域の事業者が施工可能に。
- ▷ 大ホールは14.5mのトラス梁を採用し、木に包まれるような空間となっている。

## DATA

〈顕彰施設のうち500m<sup>3</sup>未満の施設〉

- ・ 平均延床面積 326.47 m<sup>2</sup>
- ・ 平均木材使用量 80.48 m<sup>3</sup>
- ・ 平均県産木材使用量 49.83 m<sup>3</sup>